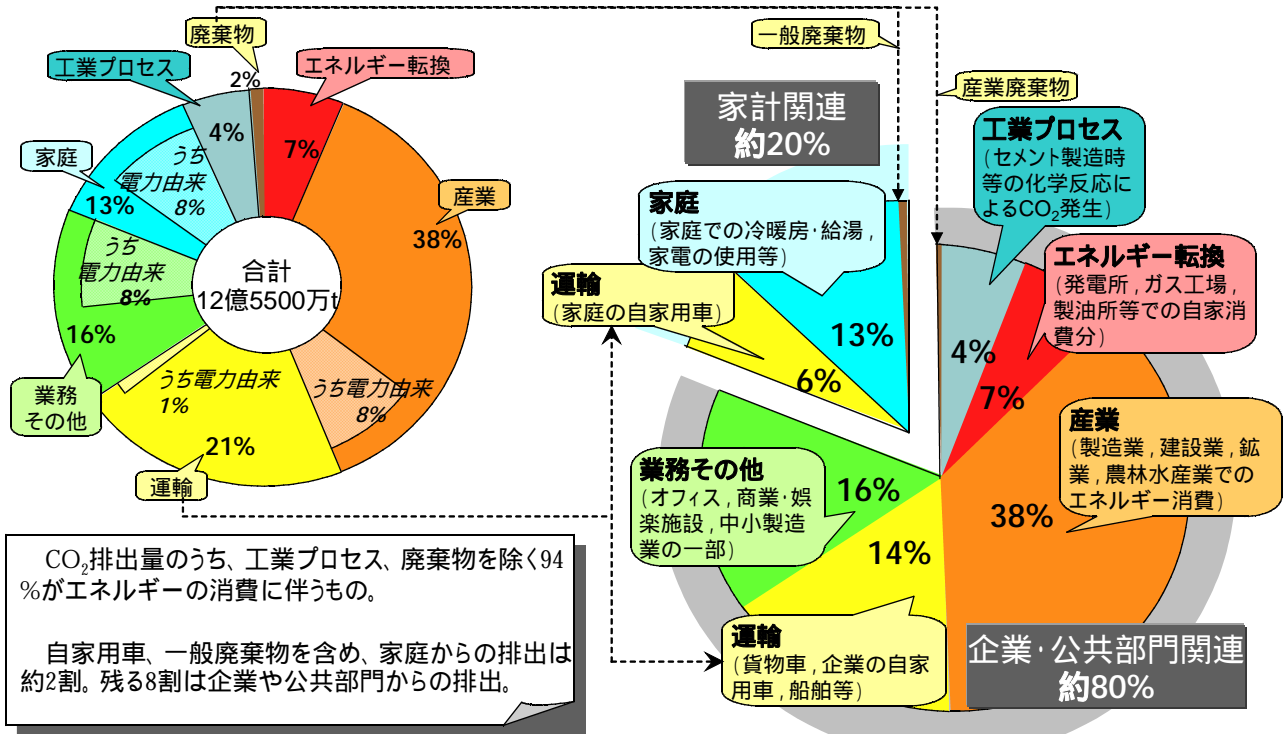


(3) 主体別にみた排出割合

我が国の温室効果ガスの排出量のうち二酸化炭素について、排出主体別に「家庭」と「企業・公共部門」とに分けてみると、家庭が約20%、企業・公共部門が約80%である。

(図13参照)

(図13 : 2003年度二酸化炭素排出量(速報値) (排出主体別))



我が国の二酸化炭素排出量の推移を主体別に見た場合、20%を占める「家庭」の2003年度排出量は、基準年の排出量を約33%増加しており、80%を占める「企業・公共部門」は、基準年の排出量を約8%増加している。増加量で見ると、「家庭」は約6,400万t-CO₂、「企業・公共部門」は約6,900万t-CO₂となっており、概ね同程度である。(図14参照)